

A 論説文「余白を引き受ける地図」

全32問100点・目安60分 | 高校入試・標準～応用 | 10問・32点 | 目安 20分

オリジナル本文 具体例と主張の関係をたどり、情報を選ぶことの意味を要旨にまとめる。

名前

実施日

月	日
---	---

① 初めて訪れる町で地図を開くと、建物の形も道の幅も、目の前の風景ほど複雑ではない。店先の植木鉢や、曲がり角で立ち話をする人も描かれていない。だが、私たちはそれを地図の欠陥とは考えないだろう。目に入るものをすべて写したら、かえって目的地への道筋が見えにくくなる。地図の分かりやすさは、情報を省くことの裏返しなのである。

② しかし、省けば省くほどよい地図になるわけでもない。町の散策地図を作った生徒たちが、坂道を細い一本の線で示したとする。紙面はすっきりするが、車いすを使う人には、坂の傾きや途中で休める場所が大切かもしれない。一方、短い時間で駅まで歩きたい人なら、曲がり角の目印を優先するだろう。同じ道を描いていても、誰が何のために使うかによって、省けるものと省けないものは入れ替わる。

③ このとき注意したいのは、作る側にとって見慣れたものほど、説明の必要がないと思われやすいことだ。毎日その坂を上る生徒は、途中に長い階段があることを知っている。だから、階段の印がなくても地図を読める。だが、その読みやすさは地図だけが生んだものではない。生徒がすでに持っている経験が、地図の空白を埋めているのである。作り手と使い手の経験の差を考えなければ、親切なつもりの省略が、誰かを困らせることもある。

④ それなら、考えられる情報をすべて書き込めば安心だ、という意見もあるだろう。ところが、階段、傾斜、店の営業時間、木陰の位置などを一枚に詰め込むと、それぞれの印が重なってしまう。正しい情報が増えたことと、使う人が必要な情報を見つけやすくなったこととは同じではない。大切なのは量を競うことではなく、使う人に必要な情報を選び、その情報にたどり着く道筋を整えることである。

A 論説文「余白を引き受ける地図」

高校入試・標準～応用 | 10問・32点 | 目安 20分

オリジナル本文 つづき

⑤ 例えば、駅へ向かう道順を示す地図には、曲がる場所を大きく描く。そのうえで、別の紙面に段差の少ない道を示し、入口のところに参照先を添える方法がある。紙面を分ければ、最初の地図だけであらゆる疑問に答えることはできない。しかし、何を主に示した地図なのか、ほかの情報をどこで確かめられるのかは伝えられる。空白をただ隠すのではなく、空白のありかを知らせる工夫だと言える。

⑥ もちろん、こうして地図を完成させても、作り手の想定から漏れる使い方は残る。そこで、試しに使った人が迷った場所や、探せなかった情報を記録してもらう。その声に合わせて印を一つ足すこともあれば、増やしすぎた印を別の紙面に移すこともあるはずだ。修正とは、情報を足し続けることだけを意味しない。使う人とのやり取りを通して、選び方そのものを見直すことなのである。

⑦ 地図は町そのものではない。ある目的から町を見直し、必要な部分を選んで差し出したものだ。この性質は、発表の資料や短い紹介文にも通じる。何かを選ぶ以上、何かは選ばれない。だからこそ、選択の基準を示し、選ばれなかった情報にも必要に応じて近づけるようにする。分かりやすく伝える責任は、すべてを一度に語るのではなく、自分の説明の届く範囲を確かめながら、相手の問いに開いておくことにある。

本文・資料・設問は本教材のために作成したオリジナルです。登場人物・学校・調査データは架空です。

A 論説文「余白を引き受ける地図」

高校入試・標準～応用 | 10問・32点 | 目安 20分

本文・資料は問題1～2ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問1〔2点〕 第1段落の「裏返し」が表す関係として最も適切なものを選びなさい。

- ア 情報を省く工夫は、必ず地図の分かりやすさを失わせること。
 - イ 分かりやすい地図でも、書かれた情報の半分は正しくないこと。
 - ウ 分かりやすい地図は、情報を省くことによって成り立つこと。
 - エ 地図の分かりやすさは、実際に使った後でしか判断できないこと。
- 選んだ記号を○で囲みましょう。

問2〔2点〕 第2段落の車いすを使う人と駅まで歩きたい人の例は、何を示すために挙げられているか。

- ア 同じ道の地図でも、利用者や目的によって必要な情報が異なること。
 - イ 地図にかかる時間は、利用者の移動速度によって決まること。
 - ウ 異なる人が使う地図には、町の情報をすべて載せる必要があること。
 - エ 正確な地図を作るには、利用者を一人に決める必要があること。
- 選んだ記号を○で囲みましょう。

問3〔3点〕 第3段落で、地図にない情報を補い、生徒が地図を読めるようにしているものを、本文から十三字で抜き出しなさい。

13

A 論説文「余白を引き受ける地図」

高校入試・標準～応用 | 10問・32点 | 目安 20分

本文・資料は問題1～2ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問4〔3点〕 第4段落で、考えられる情報をすべて書き込む案に筆者が慎重なのはなぜか。

- ア 情報が増えるほど、正しい情報の割合が必ず低くなるから。
- イ 情報を選んで示すと、使い手が自分で考えられなくなるから。
- ウ 情報をすべて集めても、地図を更新する時間がなくなるから。
- エ 情報が正しくても、重なり合えば必要なものを探しにくいから。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問5〔3点〕 第5段落は、第4段落の内容に対してどのような役割を果たしているか。

- ア 情報は少ないほどよいという第4段落の主張に反論する。
- イ 必要な情報を選び、見つけやすくする方法を具体的に示す。
- ウ 地図を分けて作った結果、利用者が増えたことを報告する。
- エ 作り手が地図を読めるのは経験があるためだと説明する。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問6〔3点〕 筆者の考え方に最も合う、博物館の短い紹介文の作り方を選びなさい。

- ア 展示の見どころだけを書き、掲載しなかった情報があることは伏せる。
- イ 展示物の解説をすべて集め、文字を小さくして一枚に収める。
- ウ 子ども向け展示を中心に紹介すると示し、全展示の案内先も添える。
- エ 初めて作った説明を保ち、読んだ人の疑問は次の企画まで集めない。

選んだ記号を○で囲みましょう。

A 論説文「余白を引き受ける地図」

高校入試・標準～応用 | 10問・32点 | 目安 20分

本文・資料は問題1～2ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問7〔3点〕 第6段落で、使う人とのやり取りを通して見直すべき対象を表す部分を、七字で抜き出しなさい。

--	--	--	--	--	--	--

7

問8〔4点〕 第5段落の方法では、最初の地図で全ての疑問に答えられなくても、なぜ意味があるのか。「範囲」と「情報」を使い、四十字以上六十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問9〔4点〕 文章全体の構成として最も適切なものを選びなさい。

ア 省略の利点から出発し、その限界と工夫を検討して、伝える責任へ考えを広げる。

イ 地図の欠陥を列挙し、地図を使わない方法と比較して、地図の廃止を提案する。

ウ 二つの町の地図を比較し、優れた地図を選ぶ基準を示して、調査結果をまとめる。

エ 昔の地図の作り方を紹介し、現在までの改良をたどって、将来の地図を予想する。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問10〔5点〕 筆者が考える「分かりやすく伝える責任」とは何か。情報の選択・省いた情報・使い手との関係に触れ、五十字以上七十字以内でまとめなさい。

[illegible]

B 小説「三秒の間」

高校入試・標準～応用 | 10問・32点 | 目安 20分

オリジナル本文 会話・動作・反復される物を根拠に、人物の捉え方の変化を読む。

名前

実施日

月	日
---	---

① 「ここ、三秒も空いてる。」私は画面の波形を指でなぞった。卒業前の特別放送まで、あと二日。放送部の私と紗季は、この春で退職する用務員の小野さんへのインタビューを、三分の番組にまとめていた。小野さんが「この学校で、うれしかったこと」を答える場面だけ、細長い直線が続いている。私はそこを選んで、削除の印を付けた。

② 「そのままだも、よくない？」隣で紗季が言った。「時間が足りないから。何も話していないところだし。」私は答えて、ほかにも短くできる部分を探した。去年の校内放送で原稿を読み間違えて以来、私は言葉のつかえが気になって仕方がなかった。止まらず、はっきりと流れる声。それが、聞く人を困らせない放送だと思っていた。

③ 翌日の昼休み、私は返し忘れた録音機のケースを持って、用務員室を訪ねた。小野さんは、机の上に並べた小さな木の札を紙で包んでいた。花壇の名前を書いた札だ。花が枯れたあとも捨てず、裏返して別の名前を書けるようにしているのだという。私は棚にケースを置き、番組がもうすぐできることだけ伝えて帰ろうとした。

④ 「昨日の質問、急には出てこなくてね。」小野さんの手が止まった。「大きなことを答えなきゃと思ったんだ。でも、思い出したのは、雨の日に廊下ですれ違った子が、また明日って言ったことだった。」小野さんは札の角を包み直した。「それまで、おはよう、はよく聞いたけれどね。」窓の外で、誰かの運ぶバケツが短く鳴った。私は、昨日の録音にもこんな音が入っていたことを思い出した。

B 小説「三秒の間」

高校入試・標準～応用 | 10問・32点 | 目安 20分

オリジナル本文 つづき

- ⑤ 部室に戻ると、紗季は机にひじをついていた。「話の順番、少し変えてみた。でも、最後は悠に決めてほしい。」私はうなずいたものの、編集画面を開けなかった。あの三秒の直線の向こうで、小野さんは、廊下や雨や生徒の声を探していたのかもしれない。私は時計を見た。まだ昼休みは残っているのに、ずいぶん急いでここまで来た気がした。
- ⑥ 紗季に用務員室での話をする、彼女はイヤホンを片方差し出した。二人で元の録音を聞いた。小野さんは質問のあと、小さく息を吸っていた。間が空き、「うれしかったのはね」と続く。さらに聞くと、最後の「また明日」の声が、ほかの言葉より少し明るかった。昨日は音量の山と谷しか見ていなかった画面が、今は別のものに見えた。
- ⑦ 私は削除の印を外した。その代わり、番組の冒頭で私が読んだ長い紹介を、二文に縮めた。「この三秒、聞き間違いだと思われなかな。」私が言うと、紗季は「そうかもしれない」と答えた。すぐに大丈夫とは言わないので、少しおかしくなった。「でも、そのあとの声まで聞いてもらおうよ。」私は冒頭から再生し、今度は画面を伏せた。
- ⑧ 放送の日、私は操作卓の時計を見ていた。三秒の間に入ったところで、思わず音量のつまみに手を伸ばした。けれど、回さずに指を離した。廊下の足音が、いつもどおり聞こえた。やがてスピーカーから、小野さんの声が続いた。放送を終えて教室に戻る途中、花壇の前に小野さんがいた。私は「また明日」と言いかけ、今日が最後の勤務日だと思い出した。
- ⑨ 「放送、ありがとうございました。」言葉を選んでいる間、小野さんは待っていた。「こちらこそ。」小野さんはそう言って、包みのひもを結び直した。私は次の言葉をすぐに探さず、隣にしゃがんだ。土には札が一本、まだ差したままになっていた。表の名前は雨で薄れていたが、裏側は白かった。

本文・資料・設問は本教材のために作成したオリジナルです。登場人物・学校・調査データは架空です。

B 小説「三秒の間」

高校入試・標準～応用 | 10問・32点 | 目安 20分

本文・資料は問題6～7ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問11〔2点〕冒頭で「私」が三秒の間に削除の印を付けた理由として最も適切なものを選びなさい。

ア 小野さんの答えが質問の内容から外れていると判断したから。

イ 時間に収めるため、話していない間を不要だと考えたから。

ウ 録音機の故障で生まれた無音を取り除こうと考えたから。

エ 紗季よりも早く編集を終えて、技術の高さを示したいから。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問12〔2点〕第2段落に去年の読み間違いが書かれているのは、主に何を伝えるためか。

ア 部員から編集を任されなくなった事情。

イ 原稿を速く読む技術が上達した過程。

ウ 放送の責任を紗季に任せたい事情。

エ 声が止まることを気にするようになった背景。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問13〔3点〕第4段落から、小野さんがうれしかった出来事の中で、生徒に言われた言葉を四字で抜き出ささい。

--	--	--	--

4

問14〔3点〕第5段落の「ずいぶん急いでここまで来た気がした」に表れている「私」の思いとして最も適切なものを選びなさい。

ア 小野さんが考えた時間に目を向けず、早く完成させようとしていたことへの戸惑い。

イ 小野さんとの話が長引き、昼休みのうちに作業を終えられないことへの焦り。

ウ 自分の留守中に紗季が編集を進め、役割を奪われたことへの不満。

エ 番組の内容をすべて忘れてしまい、最初から録音し直すことへの不安。

選んだ記号を○で囲みましょう。

B 小説「三秒の間」

高校入試・標準～応用 | 10問・32点 | 目安 20分

本文・資料は問題6～7ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問15〔3点〕 第6段落で画面が「別のものに見えた」とある。どのような変化を表すか。

- ア 音量を調整したことで、録音の波形が以前より大きく見えるようになった。
 - イ 音声は文字に置き換わり、小野さんの発言を目で追えるようになった。
 - ウ 音の形だけでなく、その向こうにある思いや声の表情を感じるようになった。
 - エ 新たに録音した音声と重なり、誰の声を聞き分けられるようになった。
- 選んだ記号を○で囲みましょう。

問16〔3点〕 第7段落で紗季が「そうかもしれない」と答えてから述べた言葉は、「私」に対してどのように働いているか。

- ア 放送で誤解される可能性を否定し、編集前の形に戻すよう説得している。
 - イ 不安を残したまま受け止め、間の後の声も含めて届けるよう支えている。
 - ウ 「私」が決められないと見なし、番組の最終判断を引き取っている。
 - エ 聞き取れないのは聞き手の責任だとして、放送への心配を退けている。
- 選んだ記号を○で囲みましょう。

問17〔3点〕 第8段落で、音量のつまみに伸ばした指を回さずに離れた動作から読み取れることはどれか。

- ア 聞き手が困らないよう、小野さんの声を大きくした。
 - イ 機械が故障していると気づき、操作を諦めた。
 - ウ 紗季から合図が来るまで、操作を保留した。
 - エ 間への不安を感じながら、そのまま流すと決めた。
- 選んだ記号を○で囲みましょう。

B 小説「三秒の間」

高校入試・標準～応用 | 10問・32点 | 目安 20分

本文・資料は問題6～7ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問18〔4点〕 第7段落で「私」が画面を伏せたのはなぜか。編集への向き合い方の変化が分かるように、四十字以上六十字以内に説明しなさい。

[illegible]

問19〔4点〕 第3段落と最後の段落に出てくる木の札について、本文に即した読みとして最も適切なものを選びなさい。

ア 以前の名前の跡とまだ使える白い面が、過去を残しつつ先へ続く余地を感じさせる。

イ「私」が小野さんの仕事を引き継ぐと約束したことを、文字を使わずに伝えている。

ウ 雨で使えなくなった札の姿が、小野さんの仕事を誰も必要としなくなることを示す。

エ 表の名前を消し切らない姿が、小野さんが過去をすべて忘れたと思うことを示す。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問20〔5点〕 「私」の「間」に対する捉え方は、初めと終わりでどう変化したか。きっかけにも触れ、五十字以上七十字以内で説明しなさい。

[illegible]

見直し

- ☐ 問いの対象を確かめた ☐ 根拠を本文・資料で確認した
☐ 指定語と字数を守った ☐ 想像した事実を加えていない

C 複数資料「放課後の学習室を考える」

高校入試・標準～応用 | 12問・36点 | 目安 20分

オリジナル本文 調査の範囲、話し合い、実施条件を照合し、根拠のある提案をまとめる。

名前		実施日		月		日	
----	----------------------	-----	----------------------	---	----------------------	---	----------------------

①【資料1 学習室委員会の検討メモ】青葉中学校の学習室は、授業のある日の放課後に一時間開いている。静かに個人で学習するための部屋で、現在の席数は二十四席である。委員会は、利用したことがない生徒も含めて使いやすさを考えるため、全校生徒二百四十人に無記名アンケートを配った。回答期間は六月一日から五日まで。百八十人から回答があり、全員が各設問に一つずつ答えた。資料2は、その結果の一部である。

②【資料1・続き 試行の条件】担当の先生は、秋に二週間だけ試行できると説明した。学習室を見守る先生は一人で、増員はできない。火曜と木曜なら、閉室を最大三十分遅くできる。また、安全な通路を確保したうえで、席を四席まで増やせる。友達と相談する活動には別室が必要だが、別室を同時に開くにはもう一人の先生が必要になる。試行後も同じ運営を続けられるとは限らず、利用の状況と先生の負担を見て改めて判断する。

③【資料3 話し合いの記録】悠真「表全体では、時間の延長を選んだ人が一番多いね。この希望を優先したい。利用なしの人でも四十二人が選んでいるから、閉室を遅くすれば、その四十二人全員が来ると思う。」美月「希望したことと、実際に来られることは同じかな。部活動や帰宅の都合もあるし、理由までは今回聞いていないよね。それに、延長できるのは週二日だけ。毎日遅くまで開けられると思って答えた人がいるかもしれない。」

C 複数資料「放課後の学習室を考える」

高校入試・標準～応用 | 12問・36点 | 目安 20分

オリジナル本文 つづき

- ④ 悠真「確かに、答えた人がどの曜日を考えたかは分からないね。じゃあ、利用ありの人を見ようか。」美月「この七十二人の中では、席を増やしてほしい人が最も多い。全体で三番目だからといって、席の問題が小さいとは言い切れないと思う。今使っている人が困っていることと、まだ使っていない人が期待することを、分けて見たいな。」悠真「どちらか一方の希望だけで決めると、もう一方が見えなくなるんだね。」

⑤ 美月「相談できる席を希望した人もいるけれど、今の条件ですぐに別室を開くのは難しいよね。ひとまず、できる範囲で時間と席を変えて、試してみない？」悠真「ただ、同時に二つ変えて利用者が増えても、何が効いたかは分からないよ。」美月「うん。最初の試行では、組み合わせた運営が続けられそうかを確かめよう。どちらの効果が大きいかは、条件を分けた次の調査が必要だね。」

⑥ 【資料4 次回への確認事項】委員会は、試行の曜日・閉室時刻・席数を全校に具体的に知らせたうえで、毎日の利用者数と満席で利用できなかった人数、先生の追加の対応時間を記録する案をまとめた。利用者には使いやすかった点と困った点を聞き、利用しなかった生徒にも、その理由を尋ねる。回答しなかった六十人の希望は現時点では分からないため、今回の集計を全校の意見そのものとして扱わない。次回の会議では、希望の多さに加え、実行できる条件と試行で確かめる事柄を組み合わせ、提案を一つにまとめることになった。

資料2 学習室に最も希望すること（架空の調査データ）

対象：架空の青葉中学校の全校生徒240人。調査期間：架空の同一年6月1～5日。全員に配布し、回答した180人を集計（未回答60人）。単位：人。各回答者は四つの選択肢から一つだけ選んだ。「利用あり」は同年5月4～31日の4週間に学習室を1回以上利用した人、「利用なし」は同期間に利用しなかった人。合計は回答者内の人数であり、全校の希望を直接示すものではない。

区分	回答者数	時間の延長	相談できる席	席数増加	現状でよい
利用あり	72	18	12	30	12
利用なし	108	42	36	12	18
合計	180	60	48	42	30

C 複数資料「放課後の学習室を考える」

高校入試・標準～応用 | 12問・36点 | 目安 20分

本文・資料は問題11～12ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問21〔2点〕 このアンケートで、全校生徒に占める回答者の割合は何%か。数字で答えなさい。

問22〔2点〕 資料2の合計欄で、最も多く選ばれた希望とその人数の組合せを選びなさい。

ア 席数増加・60人

イ 相談できる席・48人

ウ 時間の延長・60人

エ 時間の延長・42人

選んだ記号を○で囲みましょう。

問23〔2点〕 資料2の「利用あり」の回答者が最も多く選んだ希望と、その人数を答えなさい。

問24〔3点〕 今回の集計を読む際の注意として、最も適切なものを選びなさい。

ア 全校に配布したため、この180人の結果をそのまま全校240人の希望とみなせる。

イ 未回答者の希望は分からないため、全校全体の希望の割合と一致するとは限らない。

ウ 利用なしの人は室内の様子を知らないため、その108人の回答は集計から除くべきだ。

エ 無記名で回答したため、希望した内容と実際の利用行動が一致すると判断できる。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問25〔3点〕 資料3の最初の悠真の発言で、表だけからは言えない部分を選びなさい。

ア 回答全体では、時間の延長を選んだ人が最も多い。

イ 利用なしの回答者にも、時間の延長を希望する人がいる。

ウ 利用なしの回答者で時間の延長を選んだのは42人である。

エ 閉室を遅くすれば、延長を選んだ利用なしの42人全員が来る。

選んだ記号を○で囲みましょう。

C 複数資料「放課後の学習室を考える」

高校入試・標準～応用 | 12問・36点 | 目安 20分

本文・資料は問題11～12ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問26〔3点〕 美月が「全体で三番目だからといって、席の問題が小さいとは言い切れない」と考える直接の根拠はどれか。

ア 利用ありの回答者の中では、席数増加を選んだ30人が最も多いこと。

イ 利用なしの回答者の中では、現状でよいと答えた人が18人いること。

ウ 回答全体では、相談できる席を希望した人数が48人に上ること。

エ 回答全体の半数を超える人が、席数増加を希望していること。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問27〔3点〕 相談できる席をすぐに設ける案について、資料1と資料2を踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。

ア 現在の学習室は静かな部屋なので、相談できる席を希望する人はいない。

イ 希望者が全体で二番目に多いため、先生一人で別室も同時に開ける。

ウ 希望者はいるが、別室に必要な先生を増やせず、今の条件では難しい。

エ 希望者は席数増加より少ないため、実施条件を確認する必要はない。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問28〔3点〕 資料4で、試行前に全校へ具体的に知らせるとした三つの事柄を答えなさい。

問29〔3点〕 先生の追加の対応時間を記録する目的として最も適切なものを選びなさい。

ア 時間延長と席数増加の、どちらが生徒に人気かを決定するため。

イ 運営にかかる負担を確かめ、継続できるか判断する材料にするため。

ウ 利用者が学習した時間と比べ、成績の伸びを計算するため。

エ 生徒の回答と照らし合わせ、アンケートの不正を見つけるため。

選んだ記号を○で囲みましょう。

C 複数資料「放課後の学習室を考える」

高校入試・標準～応用 | 12問・36点 | 目安 20分

本文・資料は問題11～12ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問30〔3点〕 延長と増席を同時に試した期間に利用者数が増えたとする。その結果の扱いとして、資料3の話し合いに合うものを選びなさい。

ア 全体で最も希望が多かったため、増加は時間延長だけの効果だと判断する。

イ 利用ありでは増席希望が最多なので、増加は席数増加だけの効果と判断する。

ウ 二つの変更の効果があったため、今後も利用者は必ず増え続けると判断する。

エ 組み合わせた運営の検討材料にするが、増加を一方だけの効果とは断定しない。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問31〔4点〕 資料1の条件を守り、資料3・4の検討内容も踏まえた試行案として最も適切なものを選びなさい。

ア 火・木曜は三十分延長し、席を二十八席にして二週間試す。利用状況と先生の負担を記録する。

イ 毎日三十分延長し、二十四席で二週間試す。希望者が最多なので、そのままの運営を永久に決める。

ウ 火・木曜は三十分延長し、先生一人で学習室と相談用の別室を同時に開く。両室の人数を記録する。

エ 開室時刻は変えず、席を三十二席にして二週間試す。満席で利用できなかった人数を記録する。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問32〔5点〕 委員会の提案を、六十字以上八十字以内で書きなさい。①表の全体と「利用あり」の傾向、②火曜と木曜に行く、条件内の延長と増席の案、③継続判断のために確認する事柄、を含めること。

																			20
																			40
																			60
																			80